



平成27年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月21日

上場会社名 株式会社タカショー 上場取引所 東
 コード番号 7590 URL http://www.takasho.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高岡 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営管理本部長 (氏名)井上 淳 (TEL)073(482)4128
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第2四半期の連結業績(平成26年1月21日～平成26年7月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第2四半期	9,924	△1.6	585	△32.6	568	△34.3	369	△28.0
26年1月期第2四半期	10,089	9.0	868	15.7	865	22.6	512	32.1

(注) 包括利益 27年1月期第2四半期 181 百万円 (△71.5%) 26年1月期第2四半期 635 百万円 (61.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第2四半期	30 06	— —
26年1月期第2四半期	45 18	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第2四半期	17,701	7,226	40.4
26年1月期	14,914	7,278	48.3

(参考) 自己資本 27年1月期第2四半期 7,157百万円 26年1月期 7,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	— —	0 00	— —	19 00	19 00
27年1月期	— —	0 00			
27年1月期(予想)			— —	17 00	17 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年1月21日～平成27年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,490	7.9	1,209	20.1	1,194	22.7	679	33.5	55 29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年1月期2Q	12,379,814株	26年1月期	12,379,814株
27年1月期2Q	101,362株	26年1月期	101,362株
27年1月期2Q	12,278,452株	26年1月期2Q	11,339,819株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予測値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済対策や海外景気の持ち直しが作用し、一昨年末を底として景気回復傾向が続いてまいりました。しかし、金融面におきましては株価変動、長期金利上昇などの不安材料もあり先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くガーデニング業界におきましては、消費税率引き上げの影響による駆け込み需要などにより新設住宅着工数は低水準ながら増加基調となったものの消費税率引き上げ後の需要の落ち込みや大雪による雪害等による施工業者の不足等、厳しい状況が続いておりますが、このような状況において、当社グループは、庭は家での暮らしにおける5番目の部屋であるという考え方「5thROOM」(フィフスルーム)に基づき、庭からできる省エネ、節電、安全をテーマとした「SMART LIVING GARDEN」(スマートリビングガーデン)による自然や季節を楽しみ、心地良い庭での暮らしを目的とする新商品の拡充と市場への啓発活動を行いました。さらに2014年5月より当社認定制度である「エクステリア&ガーデンライティングマイスター制度」を全国10会場で開催し市場啓蒙活動に注力してまいりました。

売上高につきまして、プロユース部門では、昨年より本格的に参入し積極的に投資してまいりました、エクステリア市場向け商品の販売が順調に推移いたしました。そのなかでもアルミ製人工木「エバーアートウッド」を用いた「アートポート」シリーズや「アートフェンス」シリーズの販売が顕著に推移したことや、またこれらを構成する部材である「エバーアートウッド」がガーデンエクステリアとして使用されるほか、一部のアイテムにおいて変色や剥がれに対する5年保証制度により建材としても使用されることから販売が順調に推移いたしました。また、非住宅分野向けに立ち上げました景観建材事業部の販売も微増ではありますが、伸びてまいりました。

さらに、夜の庭を演出する「光」について、当社認定制度である「エクステリア&ガーデンライティングマイスター制度」の認定者(現在、約3,200名)の拡大を図り、ローボルト(12ボルト)LEDライトならびに100ボルトLEDライト等の新アイテムを市場に投入した結果、照明機器の販売が堅調に推移したこと等により前年同四半期と比べ増加いたしました。

ホームユース部門では、家庭菜園等の新商品が売上を伸ばしたものの、消費税増税後の市場低迷や気候において例年よりも春の立ち上がりが遅れたことによりガーデン用品の売上が伸び悩み、また梅雨入りが早まり梅雨の期間が長引くなどの異常気象により日除け商品の売上が大きく伸び悩んだ結果、売上は前年同四半期と比べて大きく減少いたしました。

海外展開におきましては、中国子会社の工場において品質基準の強化や在庫管理機能とデリバリー体制の構築を図り、販売子会社の売上が順調に増加したことにより、前年同四半期と比べて増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は売上高はプロユース部門においては増収となったもののホームユース部門において消費税増税後の市場低迷と異常気象の影響が重なったことによる販売の減少により9,924,625千円(前年同四半期比1.6%減)と減収となりました。利益面においては、為替の影響等による売上総利益率の減少ならびに今後の売上拡大を目的とした先行投資となる生産設備の導入や営業拠点強化および経営の多角化への対応・業務効率の改善を目的とした基幹システムの導入等による営業費用の増加により営業利益585,423千円(前年同四半期比32.6%減)、経常利益568,351千円(前年同四半期比34.3%減)、四半期純利益369,119千円(前年同四半期比28.0%減)と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は17,701,224千円(前連結会計年度末と比べ2,786,925千円増)となりました。

流動資産においては、ガーデニングシーズン立ち上がりの売上増加に伴い受取手形及び売掛金が4,937,726千円(前連結会計年度末と比べ1,560,799千円増)となりました。また、たな卸資産においても販売に向けた在庫保管により4,122,046千円(前連結会計年度末と比べ527,208千円増)となりました。

固定資産においては、設備投資により機械装置及び運搬具が159,864千円(前連結会計年度末と比べて10,577千円増)となりました。

流動負債においては、販売に向けての商品調達が先行して行われることから支払手形及び買掛金が3,760,014千円(前連結会計年度末と比べ1,413,040千円増)、また前連結会計年度において取引銀行3行とシンジケーション方式によるコミットメントライン契約を締結し運転資金を長期借入金から短期借入金へと移行させたこと及び商品調達が上半期に集中することにより短期借入金が2,422,155千円(前連結会計年度末と比べ1,607,504千円増)となりました。

固定負債においては、運転資金を長期借入金から短期借入金へ移行させたことにより長期借入金が1,780,832千円(前連結会計年度末と比べ543,500千円減)となりました。

純資産においては、その他の包括利益累計額が減少したこと等により7,226,501千円(前連結会計年度末と比べ52,260千円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成26年3月6日に発表いたしました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,820,897	2,820,990
受取手形及び売掛金	3,376,927	4,937,726
商品及び製品	2,802,732	3,267,830
仕掛品	214,667	210,759
原材料及び貯蔵品	577,437	643,456
繰延税金資産	134,427	248,891
その他	1,060,084	489,884
貸倒引当金	△68,918	△76,171
流動資産合計	9,918,255	12,543,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,414,349	2,381,940
土地	722,000	746,070
建設仮勘定	18,533	29,822
その他(純額)	398,563	401,464
有形固定資産合計	3,553,448	3,559,297
無形固定資産		
のれん	141,105	123,449
その他	633,209	584,747
無形固定資産合計	774,315	708,197
投資その他の資産		
投資有価証券	111,573	116,460
繰延税金資産	10,283	32,780
その他	601,675	796,202
貸倒引当金	△55,251	△55,081
投資その他の資産合計	668,280	890,362
固定資産合計	4,996,043	5,157,857
資産合計	14,914,299	17,701,224

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,346,974	3,760,014
短期借入金	814,650	2,422,155
1年内返済予定の長期借入金	1,116,886	1,091,353
未払法人税等	227,977	228,045
賞与引当金	56,388	57,619
その他	588,726	978,914
流動負債合計	5,151,603	8,538,102
固定負債		
長期借入金	2,324,332	1,780,832
退職給付引当金	1,013	84
資産除去債務	80,038	84,732
その他	78,548	70,971
固定負債合計	2,483,933	1,936,620
負債合計	7,635,537	10,474,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,307,776	1,307,776
資本剰余金	1,358,461	1,358,461
利益剰余金	4,156,389	4,292,218
自己株式	△26,468	△26,468
株主資本合計	6,796,158	6,931,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,015	22,833
繰延ヘッジ損益	115,255	△9,311
為替換算調整勘定	278,602	212,120
その他の包括利益累計額合計	413,873	225,642
少数株主持分	68,730	68,871
純資産合計	7,278,762	7,226,501
負債純資産合計	14,914,299	17,701,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年7月20日)
売上高	10,089,129	9,924,625
売上原価	5,900,914	5,853,682
売上総利益	4,188,214	4,070,943
販売費及び一般管理費	3,319,642	3,485,519
営業利益	868,572	585,423
営業外収益		
受取利息	3,170	4,026
受取配当金	1,055	1,257
受取手数料	19,496	27,438
為替差益	6,160	-
受取保険金	1,026	37,292
その他	20,540	22,380
営業外収益合計	51,449	92,394
営業外費用		
支払利息	36,659	33,669
為替差損	-	57,405
その他	18,335	18,392
営業外費用合計	54,994	109,466
経常利益	865,028	568,351
特別利益		
固定資産売却益	-	188
特別利益合計	-	188
特別損失		
固定資産除却損	5,046	2,788
特別損失合計	5,046	2,788
税金等調整前四半期純利益	859,981	565,752
法人税、住民税及び事業税	355,570	256,747
法人税等調整額	△11,701	△63,997
法人税等合計	343,868	192,749
少数株主損益調整前四半期純利益	516,113	373,002
少数株主利益	3,789	3,882
四半期純利益	512,323	369,119

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年7月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	516,113	373,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,207	2,818
繰延ヘッジ損益	△28,189	△124,567
為替換算調整勘定	141,725	△70,223
その他の包括利益合計	119,743	△191,971
四半期包括利益	635,857	181,030
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	625,411	180,889
少数株主に係る四半期包括利益	10,445	141

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年7月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	859,981	565,752
減価償却費	120,863	191,561
のれん償却額	13,354	19,007
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,595	7,389
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,267	1,231
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,577	△929
受取利息及び受取配当金	△4,225	△5,283
支払利息	36,659	33,669
為替差損益(△は益)	△20,370	3,030
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△188
固定資産除却損	5,046	2,788
売上債権の増減額(△は増加)	△2,686,418	△1,561,805
たな卸資産の増減額(△は増加)	△189,442	△562,165
その他の資産の増減額(△は増加)	△15,077	159,389
仕入債務の増減額(△は減少)	1,417,332	1,429,419
その他の負債の増減額(△は減少)	414,008	337,037
その他	△1,775	20,109
小計	△30,780	640,013
利息及び配当金の受取額	4,225	5,283
利息の支払額	△40,068	△35,275
法人税等の支払額	△377,144	△266,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	△443,767	343,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△126,686	△159,094
無形固定資産の取得による支出	△117,697	△20,271
投資有価証券の取得による支出	△287	△297
短期貸付金の回収による収入	16,047	8,052
その他	△15,443	34,947
投資活動によるキャッシュ・フロー	△244,067	△136,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,071,199	2,240,686
短期借入金の返済による支出	△1,791,834	△619,473
長期借入れによる収入	1,300,000	-
長期借入金の返済による支出	△640,334	△557,942
株式の発行による収入	961,906	-
配当金の支払額	△149,677	△233,290
その他	△16,351	△10,722
財務活動によるキャッシュ・フロー	734,907	819,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,027	△7,367
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	83,100	1,019,012
現金及び現金同等物の期首残高	2,108,711	1,777,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,191,811	2,796,510

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。